

令和4年11月1日

令和4年度 革新的自殺研究推進プログラム 委託研究課題の採択について

いのち支える自殺対策推進センター
代表理事 清水 康之

いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）は、「令和4年度革新的自殺研究推進プログラム 委託研究課題」について公募を実施し、ガバニングボードにおいて厳正な審査を行った結果、下記の通り採択課題を決定いたしましたので、お知らせいたします。

*領域ごとに研究代表者氏名の五十音順に掲載

【領域1】子ども・若者に対する自殺対策

課題番号・研究課題名	研究代表者・所属・役職
1-1 オンライン不登校支援事業が子どもの学校復帰に及ぼす効果に関する研究	池田 利基 認定NPO法人カタリバ 研究チーム 研究員
1-2 SOS の出し方教育における地域連携モデルの開発	江畑 慎吾 中京学院大学 短期大学部 保育科 准教授
1-3 児童生徒の自殺リスク予測アルゴリズムの解明：自殺リスク評価ツール（RAMPS）を活用した全国小中高等学校での大規模実証研究によって	北川 裕子 東京大学 相談支援研究開発センター 学内共同教育研究施設 実践開発部門 特任助教
1-4 全小児科医を対象とした大規模調査：「小児科による自殺防止セーフティネット」構築へ向けた課題整理と政策提言に関する研究	呉 宗憲 東京医科大学 小児科・思春期科学分野 講師
1-5 子どもの抑うつに対する遠隔メンタルヘルスケアの社会実装と早期受療システム整備-KOKOROBO と子どもの精神疾患レジストリ連携-	佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部 副部長・講師
1-6 大学生および妊産婦の社会的孤立・孤独に注目した AYA 世代の自殺対策プログラムの開発	藤原 武男 東京医科歯科大学 国際健康推進医学分野 教授
1-7 学校において教職員がゲートキーパーとして機能するためには何が必要か？—チーム学校によるマルチレベルな自殺予防体制の支援・組織モデルの構築—	目久田 純一 梅花女子大学 心理こども学部 こども教育学科 准教授

【領域 2】 自殺ハイリスク群の実態分析とアプローチ

課題番号・研究課題名		研究代表者・所属・役職	
2-1	トラウマを有する者における自殺行動の予測と予防に向けた認知機能・認知バイアスの検討	金 吉晴	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 所長
2-2	非行を有するハイリスクな青少年の自殺・自傷行為の理解・予防・対応策に関する包括的な検討	高橋 哲	お茶の水女子大学 生活科学部 心理学科 准教授
2-3	がん患者の自殺に関する全国実態分析とがん診療病院自殺対策プログラムの検討	藤森 麻衣子	国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 支持・サバイバーシップ TR 研究部 支持・緩和・心のケア研究室 室長
2-4	DPC およびレセプトデータを用いた自殺企図者の医療機関受診状況の分析	松田 晋哉	産業医科大学 医学部 教授

【領域 3】 ビッグデータ・AI 等を活用した自殺対策

課題番号・研究課題名		研究代表者・所属・役職	
3-1	視覚情報の AI 分析を活用したメンタルヘルス DX プロジェクト	奥山 純子	東北大学病院 肢体不自由リハビリテーション科 助教
3-2	IoT 活用による子どもの援助希求行動の促進に関する研究	久保 順也	宮城教育大学大学院 高度教職実践専攻(教職大学院) 教授
3-3	ポストコロナの自殺対策に資する統計等のマイクロデータ利活用推進に関する研究	椿 広計	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 名誉教授
3-4	過量服薬のゲートキーパーの養成を目指したビッグデータ解析と新規養成システムの構築：地域の薬局を「気付き」と「傾聴」の拠点とした過量服薬の防止	永島 一輝	帝京大学 薬学部 臨床薬剤学研究室 助教
3-5	兵庫県における医療ビッグデータと法医学データを組み合わせたコホートデータベースを用いたリアルワールドデータによる自殺リスクの検討	宮森 大輔	広島大学病院 総合内科・総合診療科 診療講師